

令和7年度中小企業等の課題解決に向けたDXコーディネーター事業委託業務に係る

審査基準

1 業務委託候補者決定方法

契約限度額の範囲内の価格をもって有効かつ審査委員会が評価項目ごとに定めた審査基準をもとに採点した結果、最も得点の高い1者を業務委託候補者とする。

2 審査基準

評価項目	評価基準	配点
1 コーディネータの選定、体制構築		30/100
実施体制	業務を遂行するにあたり、実施体制が整っているか。適切な人員配置となっているか。	20
類似業務の実績	これまでの事業実績等から、本業務を着実に実行することが期待できるか。	10
2 セミナー・助言活動・事例集作成		50/100
企画性・実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや助言活動、事例集作成などでDXアドバイザーが専門性を活かし有効に活動できる内容になっているか。 ・実施体制、事業スケジュールが適切に計画されているか。 ・実施方法に具体性があり実現可能なものとなっているか。 	30
専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識やノウハウを有しているか。 ・受講者や参加・対象企業等に対する確かなアドバイスができるか。 	20
3 業務遂行にあたっての工夫点		10/100
業務遂行にあたっての工夫点	効果的な処理・広報をするための工夫がなされているか。	10
4 所要経費		10/100
経費の効果性	所要経費の積算根拠や金額は妥当で、費用対効果に優れているか。	10
合計		100/100

3 企画提案の採点

・提案書等に記載された内容について、審査基準表により審査を行う。

4 採択基準

・審査会での採点結果が6割以上のものを対象とします。